

# 令和2年度 修了式 式辞

ここ10日間ぐらいは、ぐっと暖かくなり春の訪れを日に日に感じるようになりました。

さて、3年生が卒業して1週間あまりが過ぎました。卒業生のいない学校生活に少しずつ慣れてきたのでしょうか？今年の卒業式も、1年生のみなさんの協力もあって大変素晴らしいものになりました。また、みなさんは、卒業生がいなくなった後も、今までと変わらずたいへん落ち着いて、学習や部活動に取り組んでいます。とても素晴らしいことです。

今日配付される学校だよりも書きましたが、コロナ禍にありながらも、1年間大きく体調を崩さずに、学校に通い続けたことは素晴らしいと思います。そして、この1年間の1年生の成長には驚かされることがたくさんありました。

まず、ミニ湯中祭での堂々とした発表です。コロナの影響により、湯本体育館での発表はできませんでしたが、学校の体育館で、初めての経験にもかかわらず、卒業生の先輩方にひけをとらない立派な発表を行いました。

そして、卒業を祝う会でも2人で知恵を出し合い、役割分担をしながら、卒業生を気持ちよく送り出してあげることができました。その裏には、休み時間や放課後の練習を積み重ねてきた努力があったことは言うまでもありません。本当にこの1年間でいろいろなことを考え、そして自分たちの責任の重さを感じながらも楽しんで生活することができました。

来年度からは、いよいよ2人での学校生活がスタートします。何をすることも2人で考え行動していかなくてはなりません。不安や心配もあるとは思いますが、卒業生から学んだことを生かしながら、新しい伝統を築いていくチャンスだと思って、何事にも新鮮な気持ちで取り組んでほしいと思います。また、2人の後ろには先生方がついていて、いつでも助言を受けることができます。2人と先生方が一緒になって良い学校を作り上げていきたいと思っています。

来年度は、コロナ禍が少しでもおさまることを期待しつつ、「新しい生活様式」を着実に実践して、これ以上の感染が広がらないようにみんなで気をつけていきたいと思っています。春休み中は健康に気をつけて、新たな気持ちで2年生のスタートが切れることを楽しみにしています。

来年度、2人が新たな気持ちでますます活躍することを期待しています。

最後に、卒業生に送った相田みつをさんの言葉をもう一度、みなさんにも送りたいと思います。

『人生において最も大切な時 それはいつでも今です』 <相田みつを>

令和3年3月23日

天栄村立湯本中学校長 渡部幹雄